（様式１）

日本医療研究開発機構　ロボット介護機器開発・標準化事業
効果測定・評価事業　　研究開発提案書

研究開発課題名 （英語表記）	○○に関する研究開発 Study of ○○		
公募名（事業名）	ロボット介護機器開発・標準化事業(効果測定・評価事業)		
研究開発期間	委託研究開発締結日　～　平成　３２年　３月　３１日（　３　年間）		
大区分	○○○○	※e-Rad の応募情報登録時の入力と合わせて記入	
中区分	△△△		
小区分	□□□		
小区分 キーワード	○△□、○□△		
小区分以外の キーワード			
研究開発代表者 氏名	（フリガナ）	○○○○　○○○	
	（漢字等）	○△　○□　　Mr.　Yyyy　Yyyyyy	
所属研究機関	○○○○大学		
住所	〒XXX-XXXX　○○県○○市・・・		
電話番号	XX-XXXX-XXXX	ＦＡＸ	XX-XXXX-XXXX
E-mail	YYY@YY.jp		
部局	△△△学部△△△学科		
職名	△△△		
経理事務 担当者氏名	□□　□□	経理担当部局 名・連絡先等	○○○○大学管理部○○課 電話番号：　FAX 番号： E-mail アドレス：
研究開発分担者 氏名※	（フリガナ）	○○○○　○○○	
	（漢字等）	□□　○○　　Ms.　Zzzz　Zzzzz	
所属研究機関	△□大学		
住所	〒222-2345　○○県○○市・・・		
電話番号	XX-XXXX-XXXX	ＦＡＸ	XX-XXXX-XXXX
E-mail	YYY@YY.jp		
部局	△△△学部△△△学科		
職名	△△△		
経理事務 担当者氏名	○△　○△	経理担当部局 名・連絡先等	△□大学管理部○○課 電話番号：　FAX 番号： E-mail アドレス：

※　研究開発分担者等は人数に応じて適宜記入欄を追加してください。

各年度別経費内訳

（１）全体経費（代表機関及び分担機関の合計額）　（単位：千円）

大項目		中項目	H30 年度	H31 年度	H32 年度	計
直接経費	1.物品費	設備備品費	X,XXX	X,XXX	X,XXX	X,XXX
		消耗品費	X,XXX	X,XXX	X,XXX	X,XXX
	2.旅　費	旅　費	X,XXX	X,XXX	X,XXX	X,XXX
	3.人件費・謝金	人件費	X,XXX	X,XXX	X,XXX	X,XXX
		謝金	X,XXX	X,XXX	X,XXX	X,XXX
	4.その他	外注費	X,XXX	X,XXX	X,XXX	X,XXX
		その他	X,XXX	X,XXX	X,XXX	X,XXX
	小　計		X,XXX	X,XXX	X,XXX	X,XXX
間接経費（直接経費の 10%目安※1）			X,XXX	X,XXX	X,XXX	X,XXX
合　計			X,XXX	X,XXX	X,XXX	X,XXX

※1　間接経費は直接経費の 10%以下としてください。

（２）機関別経費（間接経費を含めた合計額）　（単位：千円）

種別	機関名	30 年度	31 年度	32 年度	計
代表	○○○○大学	X,XXX	X,XXX	X,XXX	X,XXX
分担１	△△△△総合研究所	X,XXX	X,XXX	X,XXX	X,XXX
分担２	社会福祉法人□□□□	X,XXX	X,XXX	X,XXX	X,XXX
・・・					
合計		X,XXX	X,XXX	X,XXX	X,XXX

（３）各経費の内訳（代表機関及び分担機関）（主な内訳・H30 年度のみ）　（単位：千円）

【物品費】

品名	金額	積算根拠	必要性・用途	購入機関
ロボット A	X,XXX	X,XX × X 個	○○のため	△△△△
ロボット B	X,XXX	X,XX × X 個	○○のため	△△△△
○○測定機器	X,XXX	一式	○○のため	△△△△

【旅費】

目的	日程	場所	費用（／人）	人数	合計
打合せ	1 泊 2 日	東京	X,XXX	2	X,XXX

【人件費・謝金】

1） 人件費

職名	人件費（／月）	雇用期間	合計
研究補助	X,XXX × X ヶ月	9 ヶ月	X,XXX

※研究開発開始予定の 7 月以降で人件費の積算をして下さい。

2） 謝金

内容	単価	回数・期間	合計
○○会議のため	X,XXX	X 回	X,XXX

【その他】

内容	外注先等	合計	必要理由
○○○○	△△株式会社	X,XXX	○○のため

研究組織（研究開発代表者及び研究開発分担者）

	氏名（年齢） 研究者番号	所属研究機関 部局 職名	現在の専門 学位（最終学歴） 役割分担	30 年度 研究経費 （千円）	エフォート （%）
研究開発代表者	○△○□（XX） 12345678	○○○○大学 △△△学部△△△学科 △△△	△△△ △△博士（○○大学） △△△	X, XXX	XX
研究開発分担者	□□○○（XX） 98765432	△□大学 △△△学部△△△学科 □□□	□○□ ○○博士（□△学） □□□□□	X, XXX	XX
計　2 名			研究開発経費合計	X, XXX	

１　研　究　目　的

(1) 背景

【記載上の留意点】
・記載にあたり、本提案の重要性、必要性、臨床的意義が明確になるよう、現在の医療介護分野の問題点や社会的ニーズ、関連分野の動向等を適宜含めて記載して下さい。
・過去に本公募に類似の実証試験を実施した実績がある場合は、概要、結果などにも触れてください。

〇〇。〇〇〇。

(2) 目的

【記載上の留意点】
・記載にあたっては、事業趣旨、事業目的、社会ニーズ、国の医療介護分野の政策に合致していることが分るよう記載下さい。
・研究開発代表者・代表機関がこれまで行ってきたこの事業に関連する既存の研究に関連させ、本研究課題で何を新たに明らかにするのかを記載して下さい。

〇〇。〇〇〇。

(3) 目標

【記載上の留意点】
・記載にあたっては、毎年度終了時、事業終了時および最終的な目標を具体的に記載して下さい。

〇〇。〇〇。

(4) 期待される成果

【記載上の留意点】
・記載にあたっては、最終的な目標を達成した際に直接得られる研究成果の新規性、期待される社会的成果(医療介護分野の進展、社気的ニーズへの貢献など)についても記載して下さい。

〇〇。〇〇〇。

２　研究計画・方法

（１）要約（英文・和文）　＜最後に別添として添付＞

【留意点】
・提案書の末尾にひな形があります。ここでは記載せず(空白のままにして)、末尾に記載して下さい。

（２）研究計画・方法

【記載上の留意点】
・研究目的を達成するための具体的な研究計画及び方法を記入して下さい。
・研究開発の主なスケジュール（ロードマップ）、実施体制図等は、別紙 1,2 として添付します。
・研究計画を遂行するための研究体制について、別紙 2 の体制図とも関連付けながら、「研究開発代表者」、「研究開発分担者」及び研究協力者等の具体的な役割を明確にし、記載して下さい。
・研究計画の進め方に関して、別紙 1 と関連付けながら、年度ごとのスケジュールがわかるように記入して下さい。
・研究計画においては、効果評価計画の基本デザイン、対象者数及び評価方法等を具体的かつ簡潔に記入して下さい。詳細は、別途、提出いただく効果評価計画書(形式自由)に記載して下さい。
・実証試験で使用するロボット介護機器に関して、主たる機能、対象者の適応と禁忌、本公募にて募集対象としている重点分野の定義を満たしていることも含め、具体的かつ簡潔に記述して下さい。
・実証試験で使用するロボット介護機器の機械的な安全性に関して、検査・試験等を行っている場合はその内容と結果を具体的かつ簡潔に記述して下さい。
・倫理面の配慮について、研究対象者に対する人権擁護上の配慮、不利益・危険性の排除や説明と同意への対応状況等を記入して下さい。また実施体制に関して、被験者の安全面への配慮がされていることを説明して下さい。合わせて予定している効果評価実施施設の選定理由も記述下さい。
・必要に応じて、図・表等を付けてください。

○○。○○○。○○○。○○○。○○○。○○○。○○○。

３　研究業績

（注）

・「研究開発代表者」及び「研究開発分担者」ごとに、それぞれ学術雑誌等に発表した論文・著書のうち、主なもの（過去５年間）を選択し、直近年度から順に記入してください。また、この提案課題に直接関連した論文・著書については、「○」を付してください。

・特許権等知的財産権の取得及び申請状況および、研究課題の実施を通じた政策提言（寄与した指針又はガイドライン等）を記入してください。

・研究開発代表者　○△　○□

＜論文・著書＞

○M.Marusankaku, J.Aaaa, H.Bbbbb, A.Ccccc, Treatment of　Hepatic……, Nature, 2015 , 1,10-20

M.Marusankaku, T.Aaaa, A.Bbbbb, T.Ccccc, Risk factors for Fungal…, Nature, 2015, 2,17-26

＜特許権等知的財産権の取得及び申請状況＞

＜政策提言＞

○○○○○○ガイドライン（○○学会編　XXXX 年）

・研究開発分担者　□□　○○

＜論文・著書＞

○M.Kakukaku, T.Dddd, A.Eeee, T.Ffff, Study on Hepatitis……, Nature, 2015,12,32-40

M.Kakukaku, T. Dddd, A. Eeee, T.Ffff, Study on Malaria……, Nature, 2015,10,45-54

4　研究費の応募・受入等の状況・エフォート

（注）
本応募課題の研究代表者の応募時点における、（１）応募中の研究費、（２）受入予定の研究費、（３）その他の活動について、次の点に留意し記入してください。なお、複数の研究費を記入する場合は、線を引いて区別して記入してください。具体的な記載方法等については、研究計画調書作成・記入要領を確認してください。

① 「エフォート」欄には、年間の全仕事時間を１００％とした場合、そのうち当該研究の実施等に必要となる時間の配分率（％）を記入してください。

② 「応募中の研究費」欄の先頭には、本応募研究課題を記入してください。

※必要に応じて行を挿入して構いませんが、１頁以内で記入してください。

（１）応募中の研究費

資金制度・研究費名（研究期間・配分機関等名）	研究課題名（研究代表者氏名）	役割(代表・分担の別)	平成 30 年度の研究経費 [期間全体の額]（千円）	エフォート(%)	研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究課題に応募する理由
【本応募研究課題】（H30　～H32 ）	○○と△△の[illegible]する実験的研究（○○○○）	代表	6,000 [18,000]	30	（総額 21,000 千円）＊
科学研究費補助[illegible]戦的萌芽研究（H30~H31・日本学術振興会）	依存性に関する調査研究（○○○○）	代表	3,000 [9,000]	20	研究とは××の視点から調査する意味で異なり、本応募研究により統合的に理解が進むため。（総額　9,000 千円）＊
平成 30 年度○○財団研究助成金（H30・○○財団）	××と□□の研究（○○○○）	分担	1,000 [1,000]	10	本研究とは××の視点から調査する意味で異なり、本応募研究により統合的に理解が進むため。

申請者本人への配分予定額

研究開発期間全体で申請者本人が使用する総額（予定額）
例）6,000×3 年

研究開発課題全体（直接経費）の総額
例）（6,000＋1,000（分担者））×3 年

研究代表者の場合、総額を記載

（２）受入（予定）の研究費

既に採択済みで研究費を受け入れている又は受け入れる予定となっているもの。適宜読み替え可能。

資金制度・研究費名（研究期間・配分機関等名）	研究課題名（研究代表者氏名）	役割(代表・分担の別)	平成 30 年度の研究経費 [期間全体の額]（千円）	エフォート(%)	研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究課題に応募する理由
平成 29 年度○○財団研究助成金（H29・○○財団	××と□□の研究（○○○○）	代表	1,000 [1,000]	10	本研究とは××の視点から調査する意味で異なり、本応募研究により統合的に理解が進むため。（総額　5,000 千円）＊
○○事業（H28～H32・AMED）	××と□□の研究（○○○○）	分担	1,000 [5,000]	10	本研究とは××の視点から調査する意味で異なり、本応募研究により統合的に理解が進むため。

＊（　）内には、研究開発期間全体の直接経費の総額を記入してください。

（３）その他の活動　　エフォート：　２０　％

5　これまでに受けた研究費とその成果等

本欄には、研究代表者及び研究分担者がこれまでに受けた研究費（所属研究機関より措置された研究費、府省・地方公共団体・研究助成法人・民間企業等からの研究費等。なお、現在受けている研究費も含む。）による研究成果等のうち、本研究の立案に生かされているものを選定し、当該資金制度とそれ以外の研究費に分けて、次の点に留意し記述してください。

- それぞれの研究費毎に、資金制度名、期間（年度）、研究課題名、研究代表者又は研究分担者の別、研究経費（直接経費）を記入の上、研究成果及び中間・事後評価（当該研究費の配分機関が行うものに限る。）結果を簡潔に記述してください
- 当該資金制度とそれ以外の研究費は区別して記述してください。

（例）
資金制度名：
期間（年度）：　　年度～　　年度
研究開発課題名：
研究開発代表者又は研究開発分担者の別：
研究開発経費（直接経費）：　　千円
研究成果及び中間・事後評価結果：

【当該資金制度】
（１）基盤研究（A)、H21～H23、「○○に関する研究」、代表者、４０，０００千円
××××の成果を得た。

（２）基盤研究（B)、H21～H23、「○○に関する研究」、代表者、４０，０００千円
××××の成果を得た。

【それ以外の研究費】
（３）基盤研究（B)、H21～H23、「○○に関する研究」、代表者、４０，０００千円
××××の成果を得た。

別紙１

研究開発の主なスケジュール

・目標達成に向けて取り組むべき研究開発項目を挙げ、実施期間を記載してください。
※マイルストーン：達成しようとする研究開発の節目となる到達点・達成事項
・項目別のスケジュールや担当者が分かるように記載してください。

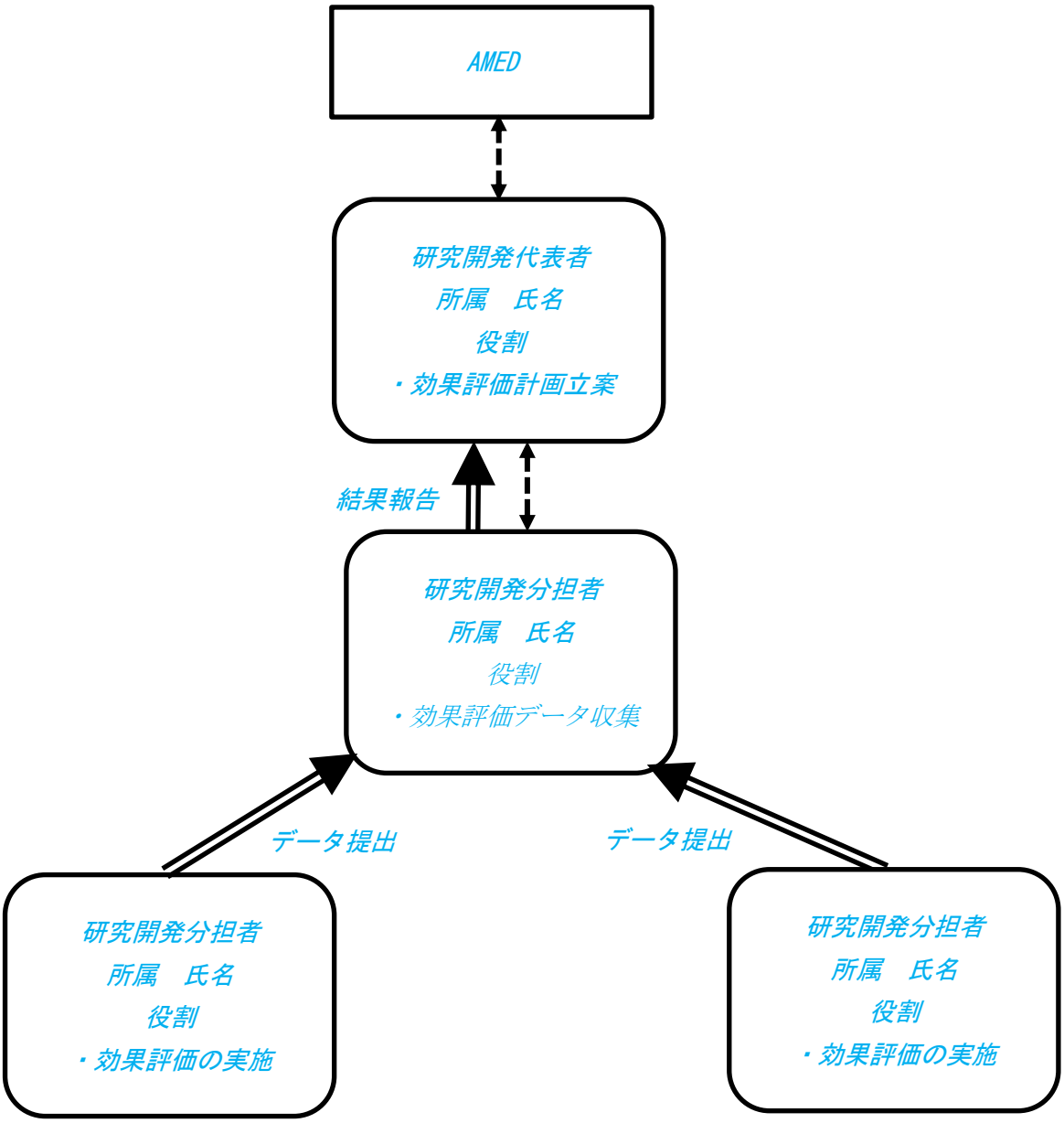
研究開発の主なスケジュール（ロードマップ）													
研究開発項目 ※マイルストーン	担当者 氏名	第１年度(H30 年度)				第２年度(H31 年度)				第３年度(H32 年度)			
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
(1) ○○関連遺伝子発現解析 ・アッセイ系の確立 ・発現データ解析													
(2)													
(3)													
(4)													
(5)													
(6)													
(7)													

別紙２

実施体制図

（注）
代表機関、分担機関の組織、体制、連携、協力体制等について体制図を記載してください。各機関の役割が分かるように記載してください。また、研究開発課題の運営・推進及び進捗管理等の体制や方法について記載してください。

【体制図記載例】



Summary of Proposal

<u>* Please limit this “Summary of Proposal” form to two (2) pages.</u>

1. Project title

Nam eu lorem congue tortor volutpat scelerisque quis aliquet augue: Phasellus non dui id metus facilisis tincidunt

2. Principal investigator

- Name　Hanako Iryou
- Sex　Female
- Researcher ID（8 digits）　XXXXXXXX
- Date of birth　19XX / XX / XX　(YYYY/MM/DD)
- Affiliation　ZZZZZZ University
- Department　Department of YYYYYY
- Position title　Professor
- E-mail address　ZZZZZZ@YY.jp

3. Abstract (400 words maximum)

Outline your research proposal, mentioning the anticipated results, in 400 words or less.

○○○。 ○○。

4. Keywords (10 items maximum)

List as many as 10 terms that most likely represent the essence of the proposed research.

1.	2.	3.	4.
5.	6.	7.	8.
9.	10.		

5. Publication list (10 items maximum)

List as many as 10 peer-reviewed articles published in English in reverse chronological order (most recent first), and specify the most relevant one(s) with an asterisk(s) (*).

1.
*2.
3.
4.
5.
6.
7.
8.
9.
10.

研究開発提案書要約

※ 本「研究開発提案書要約」は2頁以内に収めてください。

１．研究開発課題名

△△△△の創出を目指した研究

２．研究開発代表者

- 氏名　医療　花子
- 性別　女
- 研究者番号（８桁）　XXXXXXXX
- 生年月日（西暦）　19XX 年 XX 月 XX 日
- 所属研究機関　○○○○大学
- 所属部局　△△△学部
- 職名　教授
- 連絡先（E-mail）　ZZZZZZ@YY.jp

３．アブストラクト

1000 文字以内で簡潔に記載してください。（期待される成果も含む）。

○○○。○○。○○○。○○○。

４．キーワード（10 単語以内）

提案内容を示す、適切かつ重要と思われる単語を記載してください。

1. △△感染症　2. ○○合成阻害剤　3. 国際展開　......